

平成22年

3月定例会

新年度予算、附帯決議で可決

新副市長決まる

本会議のあらまし

平成22年3月定例会が、2月25日から3月23日までの27日間の日程で開催されました。当初41議案が提出され、人事案件を除く一般議案は各所管の常任委員会に、平成21年度補正予算、平成22年度予算は予算特別委員会にそれぞれ付託され全議案が承認、同意、可決されました。最終日に提出された議員提出議案3件と、副市長の選任、教育委員会委員2名の任命、公平委員会委員の選任、監査委員の選任の追加5議案はそれぞれ可決、同意されました。

専決処分報告

公用車ドアの開閉時における接触事故について、損害賠償額と和解成立の報告がありました。

人事案件

選任による農業委員に大島アサ子氏（石原）、生方静江氏（上白井）、角田節子氏（赤城町勝保沢）、星野愛子氏（北橋町小室）の4氏が議会推薦されました。人権擁護委員の候補者に堀口俊子氏（渋川）を推薦するもので、全員一致で承認されました。

規約の変更

県市町村会館管理組合、

県市町村総合事務組合、後期高齢者医療広域連合の規約の変更は六合村が中之条町に編入するため、下仁田南牧医療事務組合が共同事務処理を取りやめるため、館林邑楽農業共済事務組合が解散するためです。全員一致で可決されました。

条例改正

決されました。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例、市長及び副市長の給与及び旅費支給条例、職員の給与に関する条例、国民健康保険診療所条例、国民健康保険診療所使用料及び手数料条例、生活改善センター条例、小口資金融資促進条例の改正案は全員一致で可決されました。

平成21年度

一般会計補正予算

一般会計補正は1億4859万円の増で、国と県の補助金及び交付金増額等と繰越明許費補正です。全員一致で可決されました。

平成21年度

特別会計補正予算

病院事業会計を含む介護保険特別会計外5特別会計が増額で、水道事業会計を



指定管理されるたちばなの郷城山

指定管理者の指定

たちばなの郷城山を株式会社邦堂、代表取締役篠原邦也（前橋市川原町）に平成22年7月1日から平成27年3月31日まで指定管理するものです。賛成多数で可

条例廃止

花と食のむらづくり基金条例を廃止する条例は、基金事業が地区限定されていた

含む国民健康保険特別会計ほか4特別会計が減額補正されました。全員一致で可決されました。

平成22年度一般会計予算



平成22年度予算編成の重点項目

- 1 総合計画重点プロジェクトの推進
 - (1) 観光ネットワークの創出
 - (2) 中心市街地の活性化
 - (3) 道路・橋りょう整備の推進
- 2 「市民の力」と女性参加によるまちづくりの推進
- 3 こどもからお年寄りまで安心して暮らせるまちづくりの推進
- 4 教育・文化・スポーツの振興
- 5 産業の振興と連携による地域づくりの推進
- 6 市民との対話による公平・公正なまちづくりの推進

議案第24号平成22年度渋川市一般会計予算に対する附帯決議

本議案の歳入歳出予算の中に、学校給食調理場再編整備に関する予算が計上されています。これは、旧6市町村にある学校給食調理場が老朽化しているとともに、管理基準に適合しない施設のため、庁内検討会で検討を行い、共同調理場方式により5,500食、2,500食規模を2カ所設置するものです。

このことについては、平成20年12月15日の議員全員協議会で報告されてきたところですが、共同調理場方式でなく、学校給食の自校方式の存続と拡充を求める市民からの請願書が2度にわたり提出され、議会ではそれぞれを採択し、市に送付しました。

この間、学校給食を考える会や議員からは、計画されている共同調理場の規模縮小の提案をしてきました。しかし、市からは当初計画どおりの予算が提出され、市民からの声と大きな隔りがあります。

学校給食は安全確保を基本に、食育、地産地消、アレルギー対策、炊飯、コスト、運営など学校給食のあり方について広く市民を交えた検討が重要です。

よって、市議会として、学校給食調理場再編整備に関する予算については、市民との合意形成の上で執行することを強く求め、附帯決議といたします。

議案第24号平成22年度渋川市一般会計予算に対する附帯決議

本議案の歳入歳出予算の中に、旧渋川公民館に関する予算が計上されています。これは、四ツ角周辺土地区画整理事業建物移転補償に関するものです。

旧渋川公民館については、議員全員協議会でその取り扱いについて報告されてきたところです。しかし、この建物は歴史的価値、文化的価値、戦争の生き証人として昭和史に残すにふさわしい建造物です。

歴史と文化のかおり高いまちづくりを目指す渋川市です。

渋川市のまちが歴史的で文化的な潤いのあるまちとして、将来にわたって生き続けていくためにも歴史的建造物を保存することは極めて重要なことです。

よって、市議会として、市民との合意形成ができるまで、旧渋川公民館に関する予算を保留することを強く求め、附帯決議といたします。

平成22年度一般会計予算に対する附帯決議

学校給食調理場再編整備に関する決議と旧渋川公民館に関する予算を市民との合意形成ができるまで保留することを求める決議は賛成多数で可決されました。

平成22年度特別会計予算

国民健康保険、介護保険など7特別会計が増額で、交流促進センター事業、農業集落排水事業など8特別会計は減額です。

水道事業、病院事業会計は減額で、老人保健ほか13特別会計と水道事業会計は、全員一致で可決されました。国民健康保険特別会計と病院会計は、賛成多数で可決されました。

議員提出議案

所得税法第56条の廃止を

求める意見書、妊婦健診等の公費負担の拡充を求める意見書は、全員一致で可決されました。八ッ場ダム建設中止撤回並びに建設推進を求める意見書は、賛成多数で可決されました。

副市長に飯塚寛巳氏（村上）、教育委員に小林巳喜夫氏（渋川）、都丸英子氏（赤城町敷島）、公平委員に都丸昌計氏（伊香保町伊香保）、監査委員に中澤康光氏（渋川）がそれぞれ同意されました。

選挙管理委員及び補充員の選挙

中澤隆氏（八木原）、池田達彦氏（中郷）、木村征美氏（北橋町真壁）、角田邦雄氏（赤城町勝保沢）の4氏が選挙管理委員に、荻原和政氏（伊香保町伊香

追加人事案件

副市長に飯塚寛巳氏（村上）、教育委員に小林巳喜夫氏（渋川）、都丸英子氏（赤城町敷島）、公平委員に都丸昌計氏（伊香保町伊香保）、監査委員に中澤康光氏（渋川）がそれぞれ同意されました。